

## モニタリング結果報告書

平成 17 年 8 月

政策体系	番 号					
基本目標	5	労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるよう環境を整備すること				
施策目標	3	労働者の就業状況等に対応した多様な職業訓練・教育訓練の機会の確保を図ること				
	VI	勤労青少年が有益な社会人、職業人として成長しその責任を果たすように支援すること				
担当部局・課	主管部局・課	職業能力開発局キャリア形成支援室				
	関係部局・課					
実績目標 1	勤労青少年福祉対策として勤労青少年指導者等の育成・能力の向上のための施策を推進する					
(実績目標を達成するための手段の概要)						
平成 15 年度において、勤労青少年指導者等の育成・能力の向上のための施策として、次の講習会及び研修会を実施した。						
① 勤労青少年ホーム指導員講習会（以下「指導員講習会」という。）						
5 月、東京において、主に新任の勤労青少年ホームの指導員を対象に、勤労青少年ホームの運営のための基礎的な知識・手法に関する講習会を実施。						
② 勤労青少年指導者講習会（以下「指導者講習会」という。）						
勤労青少年ホームの館長、指導員を対象に、実践的なカウンセリング技法を付与するための講習会を、全国 8 ブロックで実施。						
(評価指標)		H 1 2	H 1 3	H 1 4	H 1 5	H 1 6
指導員講習会修了者数 (人)		42	44	40	35	—
(備 考)						
・ 評価指標は厚生労働省調べ						
・ 平成 15 年度をもって講習会廃止						
(評価指標)		H 1 2	H 1 3	H 1 4	H 1 5	H 1 6
指導者講習会参加者数 (人)		—	—	—	204	—
(備 考)						
・ 評価指標は厚生労働省調べ						
・ 平成 15 年度をもって講習会廃止						
実績目標 2	ワーキング・ホリデー制度利用者に対する支援を行うこと					
(実績目標を達成するための手段の概要)						
勤労青少年を国際感覚豊かな職業人として育成するため、ワーキング・ホリデー制度を利用する青少年に対し、(社)日本ワーキング・ホリデー協会を通じ、ワーキング・ホリデー制度に関する情報の提供、説明会・オリエンテーション等の支援事業を実施する。						

## ○関連する経費

- ・ 青少年の国際交流促進事業（平成 16 年度予算額） 84 百万円

(評価指標)	H 1 2	H 1 3	H 1 4	H 1 5	H 1 6
ワーキング・ホリデー制度利用者等に対するアンケート調査の結果（%） 社団法人日本ワーキング・ホリデー協会でのオリエンテーション、説明会について「大変良い」、「良い」と回答した者の割合	—	—	—	86.2	82.7
(備 考)					
・ 社団法人日本ワーキング・ホリデー協会調べ					